

# 上山市（東北ブロック）

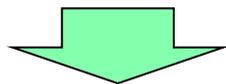
（計画期間 24年11月～29年3月）

室町～：羽州街道の要衝として上山城を中心に城下町が形成。「出湯のまち」でもあり宿場町として繁栄。  
 明治～：鉄道開通により下町界隈が地域の流通拠点となり、商業市街地に変貌。  
 現在：山形蔵王や天童と共に、山形県の広域観光圏を形成。

## 【中心市街地を巡る状況】

- 観光地であるとともに地域の生活の場であり、複数の温泉街、医療機関や金融機関、公共施設等が一体的にまちを形成しているが、近年、モータリゼーションが影響し、北側に隣接する山形市への消費流出が深刻な課題となっている。
- 蔵王や天童と観光圏を形成する温泉街をはじめ、上山城や地場産品等の魅力を活用した滞在型温泉保養地を目指す。回遊ルート整備や商品開発が十分でなく、観光需要を取り込みきれていない。全市の8割に相当する約80万人/年の観光客についても、近年は減少傾向にある。

- 歩行者通行量の減少 ※主要7調査地点(休日)  
 H11:2,812人/日 → H21:2,398人/日(14.7%減)

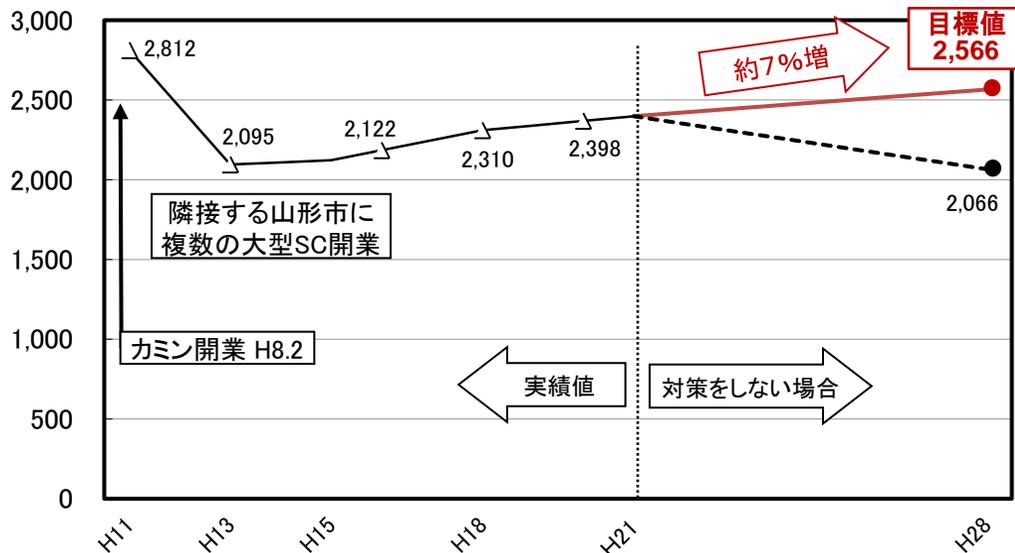


## 【目指す中心市街地像】

- 歴史ある温泉街を中心に人々の活気があふれ、「歩いて健康」になれる居心地良いまち。

目標	指標	現況値	目標値
回遊促進・商店街利用促進による賑わい創出	歩行者通行量(休日)	2,398人(H21)	2,566人(H28)
居場所づくり・市民活動の拡大による賑わい創出	まち中の交流施設利用者数(年間)	37,419人(H23)	60,000人(H28)

## 【歩行者通行量(休日・人)の推移】



- 歴史・地域資源を活かした健康で歩きたくなるまち ⇒ ①上山城拠点機能強化事業、②温泉クアオルト構想事業
- 生活者と旅行者が集まる活気あるまち  
 ⇒ ③カミン集客力強化事業、④「食の駅」設置事業、⑤一店逸品開発推進・特産品開発事業
- 人と人が結びつく居心地良いまち ⇒ ⑥高齢者サロン設置(社会実験)事業、⑦上山小学校改築整備事業

# 上山市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 歴史・地域資源を活かした健康で歩きたくなるまち

### ①上山城拠点機能強化事業

歴史資料館としての機能を強化するとともに、スクリーンの設置やバリアフリー化によって、**回遊型観光の拠点整備**を進める。

### ○上山城周辺の魅力的な歩行空間を整備する事業

上山城がある月岡公園外周や武家屋敷通りの遊歩道整備、道路美装化等により、**景観が良く散策に適した歩行空間を形成**する。

### ○武家屋敷・旧曾我部家整備事業

全国的にも稀有な築200年以上の武家屋敷群の一部を改修、一般公開することにより、**観光資源として積極的に保存、活用**する。



### ②温泉クアオルト構想事業

地形、気候、温泉という地域特性を活かした健康ウォーキングルートの設定や拠点施設整備により、**滞在型・回遊型観光**を目指す。



## 人と人が結びつく居心地良いまち

### ⑥高齢者サロン設置（社会実験）事業

高齢者が気軽に立ち寄り、交流できる場を整備し、**将来増加する高齢者層にとって住みよい環境**を作る。

### ⑦上山小学校改築整備事業

小学校の建替えに伴う多目的ホール等の新設、一般開放により、**地域交流の機会を充実**させる。改築に合わせ、児童館も新設し、**子育て世代にとって住みよい環境**を作る。

### ②温泉クアオルト構想事業（再掲）

## 生活者と旅行者が集まる活気あるまち

### ③カミン集客力強化事業

既存の商業施設で、物産・産直機能を強化し、**地元消費だけでなく観光客にも対応した商業拠点**を目指す。

また、観光情報やイベント案内といったインフォメーション機能も充実させる。



### ④「食の駅」設置事業

地元食材を使用した郷土食を提供する「食の駅」を認定し、**中心市街地への地域へのリピーターを増やす**。

### ⑤一店逸品開発推進・特産品開発事業

ご当地商品の改良、開発による個店の魅力アップにより、**地元消費だけでなく観光客も取込む商店街の形成**を図る。